

【シッポの刺激】

〈指でつまむシッポの刺激の仕方〉

シッポの側面には大きな血管がないので、側面をつまみます。
指つまみの練習をした時のような強さで施術します。



○側面をつまむ（横から見た図）



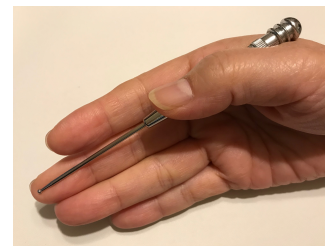
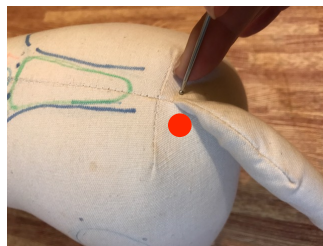
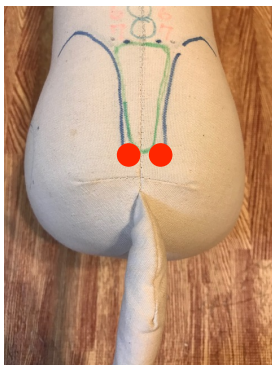
（上から見た図）



×下側に血管があるので、つままない

1. シッポの付け根のツボ 「尾根・びこん」にてい鍼(赤い○の位置)

てい鍼を充て、ゆっくり3つ数え、放す。これを左右3回ずつ。1日数回。

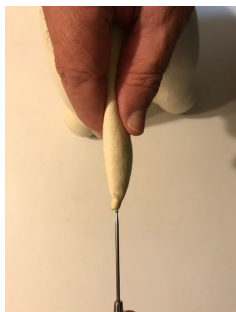


てい鍼の持ち方

2. シッポの先のツボ 「尾尖・びせん」にてい鍼をします。

シッポを軽く持ち、シッポの先にてい鍼を充てる

(画像は位置をわかりやすくするために鍼を長くもっていますが、施術の時は1と同じ持ち方、要領で行なう)



3. シッポの関節を指でつまんで刺激をします。

(後肢に症状がある)

シッポの付け根を股関節、シッポの先を足の指先とし、シッポの側面を少しずつずらしつまんでいく
(頚に症状がある一頸椎ヘルニアにより痛み、前肢の麻痺など)

シッポの付け根からシッポの長さの1/3まで、を股関節、シッポの側面を少しずつずらしつまんでいく